

# 令和5年3月期 決算概要

～お客様と東和銀行のSDGs(持続可能な発展目標)の推進～



株式会社 東和銀行

# 令和5年3月期 決算概要

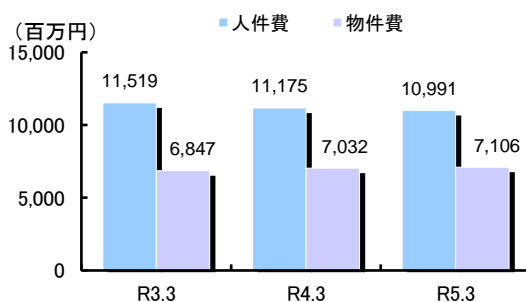
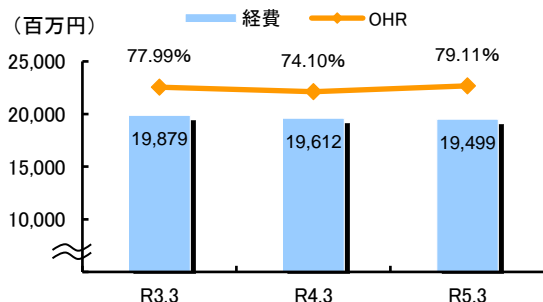
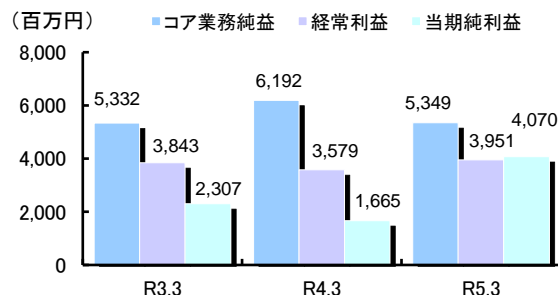
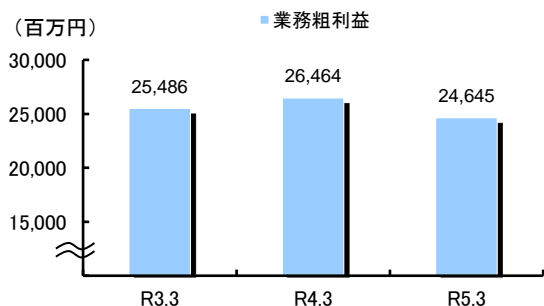
## 1. 損益の状況

令和5年3月期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が53億49百万円、経常利益は39億51百万円、当期純利益は40億70百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	R3年3月期	R4年3月期	R5年3月期	前年同期比
	通期	通期	通期	
業務粗利益	25,486	26,464	24,645	▲ 1,818
資金利益	22,826	22,931	22,183	▲ 747
役務取引等利益	2,295	2,353	2,595	+ 241
その他業務利益	364	1,179	▲ 133	▲ 1,313
経費(除く臨時処理分)(▲)	19,879	19,612	19,499	▲ 113
OHR(業務粗利益経费率)	77.99	74.10	79.11	+ 5.01
うち人件費(▲)	11,519	11,175	10,991	▲ 184
うち物件費(▲)	6,847	7,032	7,106	+ 73
コア業務純益	5,332	6,192	5,349	▲ 842
一般貸倒引当金繰入額(▲)	1,766	▲ 763	▲ 423	340
業務純益	3,840	7,615	5,569	▲ 2,045
臨時損益	3	▲ 4,035	▲ 1,618	+ 2,417
うち不良債権処理額(▲)	2,403	7,260	3,263	▲ 3,996
うち償却債権取立益	361	559	642	+ 83
うち株式等関係損益	1,277	1,917	▲ 24	▲ 1,941
経常利益	3,843	3,579	3,951	+ 372
特別損益	▲ 144	▲ 290	1,006	+ 1,296
法人税等合計(▲)	1,390	1,623	887	▲ 735
当期純利益	2,307	1,665	4,070	+ 2,404



## 2. 主要勘定の状況

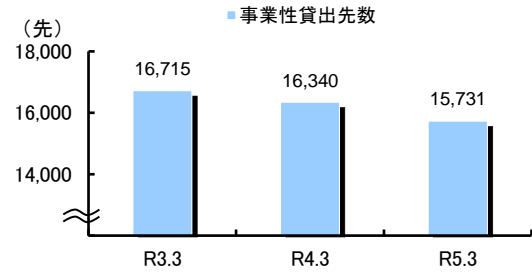
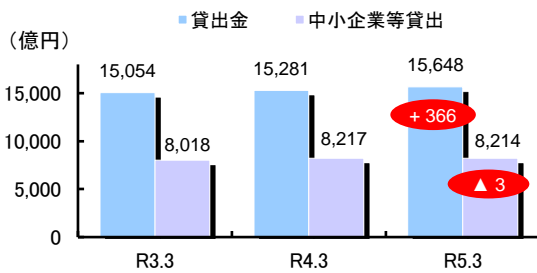
### (1) 貸出金

貸出金は、主に「真の資金繰り支援」に取り組んだ結果、当期末残高は前年同期比366億円増加の1兆5,648億円となりました。  
 中小企業貸出については、当期末残高は前年同期比3億円減少の8,214億円となりました。  
 また、事業性貸出先数について、当行はコロナ禍においてメイン先・準メイン先を中心に「真の資金繰り支援」に注力していることから、自然解消もあり、前年同期比609先減少の15,731先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	R3年3月期	R4年3月期	R5年3月期	前年同期比
	通期	通期	通期	
貸出金(末残)	15,054	15,281	15,648	+ 366
うち中小企業等貸出	8,018	8,217	8,214	▲ 3
事業性貸出先数	16,715	16,340	15,731	▲ 609



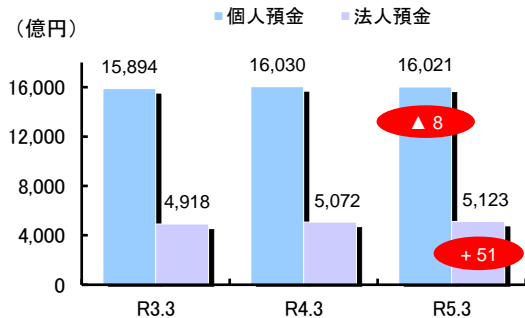
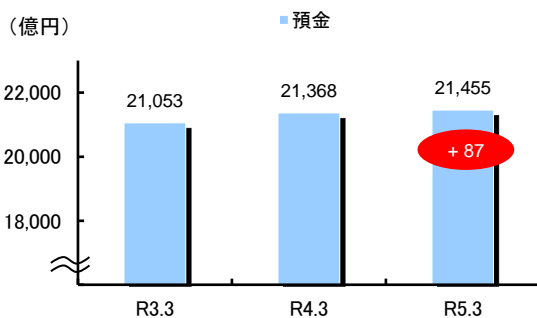
### (2) 預金

預金は、主に法人預金が増加し、当期末残高は前年同期比87億円増加の2兆1,455億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	R3年3月期	R4年3月期	R5年3月期	前年同期比
	通期	通期	通期	
預金(末残)	21,053	21,368	21,455	+ 87
うち個人	15,894	16,030	16,021	▲ 8
うち法人	4,918	5,072	5,123	+ 51



(3) 預り資産

預り資産は長期的な資産形成支援に取り組んだことより、投資信託の販売額は217億円、純資産残高は741億円、生命保険等の販売額は162億円、販売累計額は1,487億円となり、また、国債等公共債の販売額は4億円、残高は28億円となりました。

《単体》

(単位:億円)

		R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
販売額	投資信託	273	318	217	▲ 101
	生命保険等	138	124	162	+ 37
	公共債	4	4	4	+ 0

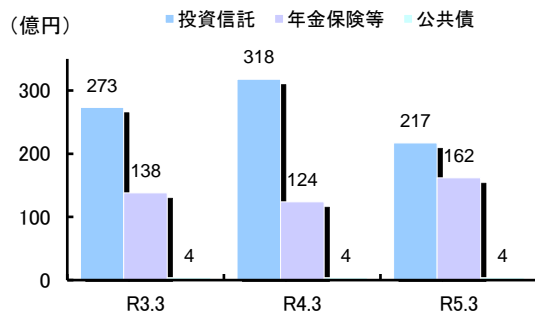
《単体》

(単位:億円)

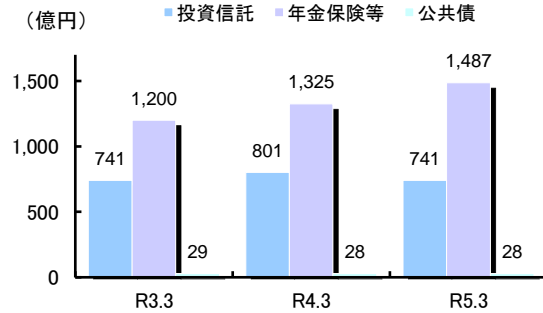
		R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
残高	投資信託	741	801	741	▲ 60
	生命保険等(※)	1,200	1,325	1,487	+ 162
	公共債	29	28	28	+ 0

(※) 生命保険等は販売の累計額

販売額



残高



(4) 有価証券

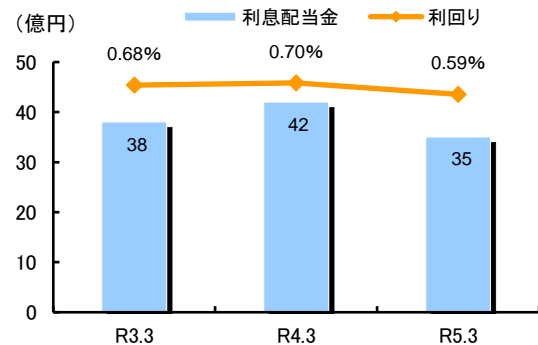
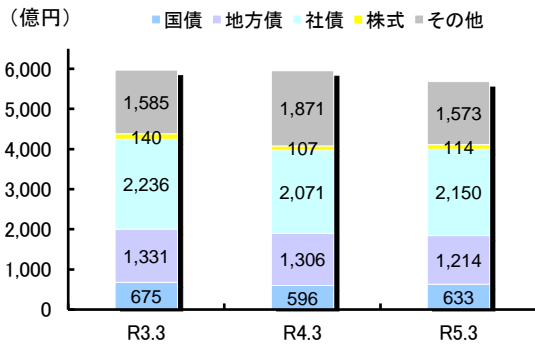
有価証券の当期末残高は、前年同期比266億円減少の5,686億円となりました。

《単位》 (単位:億円)

	R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
有価証券残高	5,968	5,953	5,686	▲ 266
国債	675	596	633	+ 36
地方債	1,331	1,306	1,214	▲ 91
社債	2,236	2,071	2,150	+ 79
株式	140	107	114	+ 7
その他	1,585	1,871	1,573	▲ 297

《単位》 (単位:億円、%)

	R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
有価証券利息配当金	38	42	35	▲ 6
有価証券利回り	0.68	0.70	0.59	▲ 0.11



(5) 有価証券評価損益

有価証券評価損益は、内外金利の上昇を主な要因として、前年同期比99億円減少し、119億円の含み損となりました。

《単位》 (単位:億円、%)

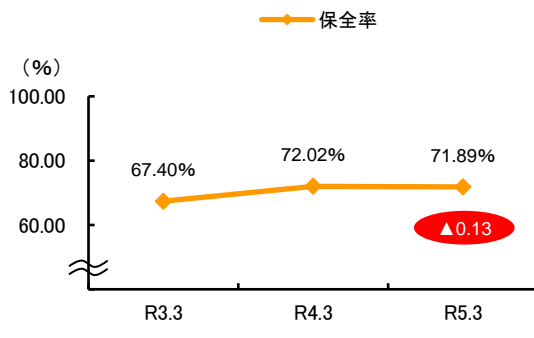
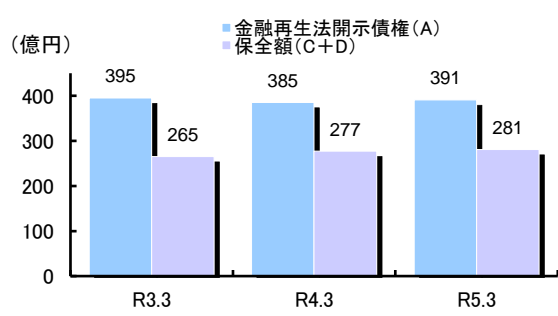
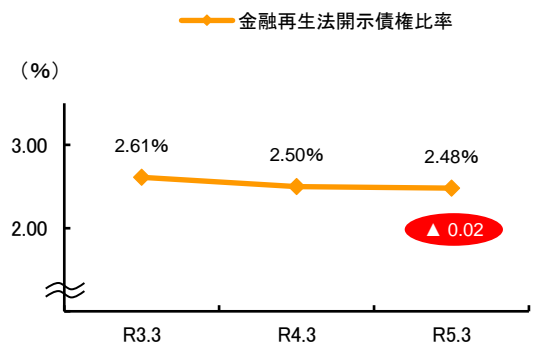
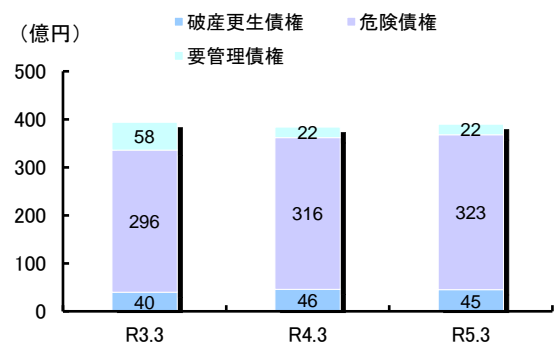
	R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
満期保有目的	2	1	1	▲ 0
子会社・関連会社株式	-	-	-	-
その他有価証券	109	▲ 21	▲ 121	▲ 99
株式	44	13	21	+ 7
債券	50	6	▲ 61	▲ 67
その他	15	▲ 41	▲ 81	▲ 39
合計	111	▲ 19	▲ 119	▲ 99

### 3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.02ポイント低下し、2.48%となりました。

《単体》 (単位:億円、%)

	R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
破産更生債権	40	46	45	▲ 0
危険債権	296	316	323	+ 6
要管理債権	58	22	22	+ 0
小計(A)	395	385	391	+ 6
正常債権	14,716	14,975	15,367	+ 392
合計(B)	15,111	15,360	15,759	+ 398
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.61	2.50	2.48	▲ 0.02
担保保証による保全額(C)	211	229	243	+ 14
貸倒引当金(D)	54	48	38	▲ 10
保全率(C+D)/(A)	67.40	72.02	71.89	▲ 0.13



## 4. 自己資本比率

自己資本比率は、10.44%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位: %)

	R3年3月期 通期	R4年3月期 通期	R5年3月期 通期	前年同期比
自己資本比率	10.51	10.51	10.44	▲ 0.07

